

質問書に対する回答

(ワークステーションさいたま運営事業)

提出されました質問書について、次のとおり回答します。

番号	質問	回答
1	要求水準書の 15 ページ「ウ 参加希望者の選考について」の部分で「働くことに高い意欲が認められるものを優先的に選考できる方法とすること。」とありますが、前述に加えて他の選考基準を設けることも可能でしょうか。	追加の選考基準を設けることは可能です。ただし、事業の目的に沿った合理的で公平な内容としてください。
2	現体制を教えて下さい。 (各役割とその従事人数等)	<ul style="list-style-type: none">現在の現場配置スタッフの人数は、通常、以下のとおりです。<ul style="list-style-type: none">1階キャリアコンサルティング： 2名1階内職等相談： 2名2階家庭と仕事の両立相談： 2名2階受付： 2名※なお、上記の人数はシフト制で従事する全員の人数であり、各業務とも従事するのは常時1名です。予約・問合せ： 2階受付にて専用電話回線を設置し対応管理者（責任者）として1名、就職支援や企業開拓等の要員として3名配置されていますが、役職や常駐は要件としておりません。各業務の人員及び管理者等に関しては、要求水準書を満たす人員配置をお願いします。「企画提案実施要綱 3(6)」に記載されているとおり、市内に本社、支店、営業所等の活動拠点を有しない場合に配置する専任担当者については、必ず拠点活動区域又は優先活動区域を、市内とする方としてください。

3	<p>本事業のよりよい運営を目指すうえで、改善点や課題、要望等があれば教えて下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・人手不足の深刻化、DXやAIの進展、柔軟な働き方の広がりなど、雇用環境の大きな変化により、求職者・企業双方のニーズも多様化・複雑化しており、こうしたニーズに即した就労支援の実施が求められます。・一部業務において、参加者が募集定員に達しないことがあります。求職者や企業のニーズ等を踏まえたテーマ・内容の設定とともに、新規利用者の獲得に繋がる広報の実施が課題です。・本事業の利用者数は一定水準を維持しているが、就職者数は伸び悩んでおり、より多くの就職につながる支援の強化が課題です。さらに、求職者のニーズや状況等に応じた丁寧な就労・定着支援も重要です。・こうした課題を踏まえ、昨今の雇用情勢の変化に対応した就労・定着支援策を検討し、積極的に実行していただきたいと考えます。
---	--	--